国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和８年１１月１３日
中 部 地 方 整 備 局
木曽川下流河川事務所

木曽三川下流部広域避難実現プロジェクト
令和８年度第２回幹事会を開催します。

木曽三川下流部広域避難実現プロジェクト※1は、木曽三川下流部の８市町村で構成される組織であり、高潮や洪水氾濫による大規模水害の被害最小化に向けた取り組みを進めています。

本幹事会では、第１回幹事会の意見交換結果を踏まえたアクションプラン改定（素案）などについて議論します。

※1 木曽三川下流部広域避難実現プロジェクト
構成員：海津市、津島市、愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、桑名市、木曽岬町、
国土交通省木曽川下流河川事務所
アドバイザー：東京大学大学院情報学環特任教授　片田 敏孝氏
東京大学生産技術研究所教授　加藤 孝明氏

１．日　　時　令和８年１１月２０日（金）１４：３０～（２時間程度）

２．場　　所　国土交通省中部地方整備局木曽川下流河川事務所
（三重県桑名市大字福島 465）

３．主な議題　アクションプラン改定（素案）について
シンポジウム※2・本会議（同日開催）について
※2 令和９年１月２３日（土）津島市文化会館　小ホールにて開催予定

４．添付資料　別紙１（概要）、別紙２（取材登録書）

５．取材について　別紙2を FAX またはメールで送付をお願いいたします。

６．配 布 先　桑名市政記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ、中部地方整備局記者クラブ

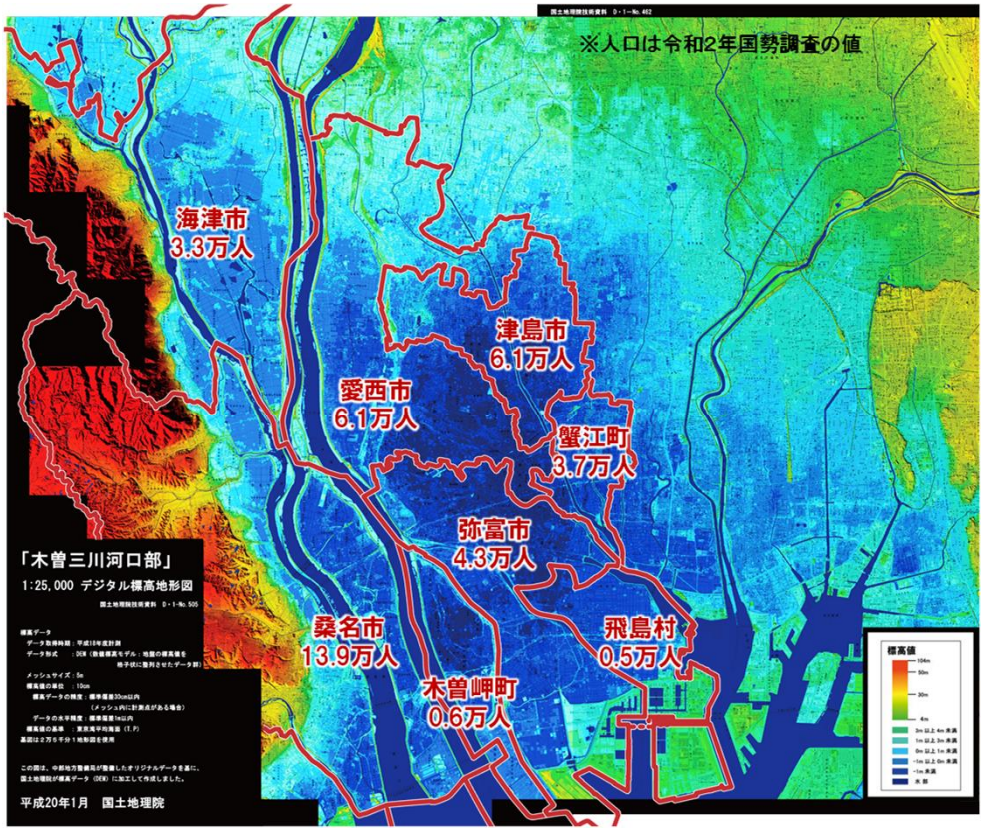
（問合せ先）
国土交通省中部地方整備局 木曽川下流河川事務所
副所長　奥山　剛、流域治水課長　横山　千津子、建設専門官　片岡　義孝
電話:0594－24－5715　FAX:0594－21－0893

木曽三川広域避難実現プロジェクトとは

木曽川下流河川事務所及び８市町村※による広域避難実現に向けた組織。
平成２８年１０月に設立され、現在は大規模水害時における住民の主体的な避難判断を行政がサポートし、被害最小化を図るため、市町村の枠を超えた広域避難の実現に向けた計画について、地域全体で検討を進めている。
※海津市、愛西市、津島市、弥富市、蟹江町、飛島村、桑名市、木曽岬町

広域避難の必要性

木曽三川下流部が位置する濃尾平野は、我が国最大の海抜ゼロメートル地帯が広がっており、伊勢湾台風では、ゼロメートル地帯が最長で１２０日間にもわたって浸水した。
この地域に巨大台風が襲来すると予測された際に、この地域の減災のため、**浸水エリアからの避難である「広域避難」**が必要不可欠となる。



出典：デジタル標高地形図「中部」濃尾平野周辺（国土地理院）をもとに作成
※人口は令和２年国勢調査の値

令和８年度第１回幹事会の様子（R8.10.6）

昨年度、見直された改定骨子を基に、行政機関の取組状況の見える化及び地域住民への分かりやすい情報発信を目的とした新たなアクションプラン（案）を提示し、意見交換を実施した。また、地域や住民の主体的な広域避難の実現に向け、行政担当者が抱える課題や対応方策について、意見交換を行った。



意見交換の様子



東京大学大学院
情報学環
片田特任教授



東京大学
生産技術研究所
加藤教授

別紙2「取材登録書」

「木曽三川下流部広域避難実現プロジェクト　令和8年度第2回幹事会」

取材登録書

当検討会の取材をご希望される報道機関におかれましては、事前登録のためこちらの取材登録書をご記入のうえ、期限までにFAXまたはメールにて送信をお願いいたします。

送信期限　令和8年11月19日（木）12時00分まで

1．報道機関名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2．取材者

(1)お名前（複数名の場合、代表者名）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2)ご連絡先　TEL＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3)取材人数　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿人

送信先　：　木曽川下流河川事務所　流域治水課

FAX番号　　**0594－21－0893**

メールアドレス　cbr-karyu_chousa@mlit.go.jp

※この会議は公開で行いますが円滑な進行のため、カメラ等の撮影は冒頭の事務局挨拶までとさせて頂きます。取材に当たっては、事前登録が必要となります。また、当日は、会議開始5分前までには受付を済ませて頂きますようお願い致します。